

科目コード	21130	科目ナンバリング		主な使用言語	日本語			
授業名	心理学統計法			担当者	國見 充展			
基本情報	年次	カリキュラムにより異なります。	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	1 7. 発問と回答
基本情報	曜日時限	木曜4限	関連資格	心理 福祉心理 公認心理	履修可能学科等	W		
授業の概要	【特例期間中の授業形態】遠隔授業(同時双方向型)および課題研究型							
	心理学研究を行う上で必要となる統計学の理論と方法，およびその基礎となる考え方を解説する。数学的側面よりも概念的理解を重視し，具体的な心理学研究の事例に沿うよう授業をすすめる。							
キーワード	心理統計							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	① 心理学で用いられる統計手法の習得 ② 統計に関する基礎的な知識の理解	評価方法（知識・技能）	定期試験課題	評価割合（知識・技能）	5 0 %
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	①心理学研究上において適切な統計手法を選択できる。 ②統計によって主張に客観的，理論的根拠を持たせられる。	評価方法（思・判・表）	同上	評価割合（思・判・表）	5 0 %
学修に主体的に取り組む態度	直接的な評価対象としない。ただし授業への参加，他者の尊重、報告・連絡・相談の姿勢、他者とのコミュニケーションの程度に著しく問題があると判断された場合は，減点や厳重注意の対象となる。				評価割合（学修態度）	0 %
実践的ボランティア	直接的な評価対象としない。				評価割合（ボランティア）	0 %
公正性	直接的な評価対象としない。ただし授業中の発言やレポート内の記述において人権侵害・差別的発言など著しく公平性を欠く言動があった場合，問題があると判断された場合は，減点や厳重注意の対象となる。				評価割合（公正性）	0 %
その他	特になし。				評価割合（その他）	0 %

授業計画	1.統計法と測定値の取り扱い 2.度数分布と統計図表 3.中心傾向の測度 4.変数の散布度の概念とその重要性 5.分散と標準偏差 6.正規分布・標準正規分布 7.パーセンタイル点・順位 8.直線相関と直線回帰 9.相関係数に影響する要因と解釈時の留意点 10.統計的検定の考え方 11.検定の方向性 12.第1種と第2種の誤り，検出力 13.t分布，母平均と標本平均の検定 14.母平均の区間推定 15.2つの平均値の差の検定 定期試験
使用テキスト	指定しない。資料は随時配布する。
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	実験データを統計的に処理するため，統計および数学の知識があると有利。しかし授業内容の予習復習によって「数学が苦手」でも十分受講可能。

障がいのある履修者への対応	可能な限り対応しますので、まずは学務部と担当教員に相談してください。
授業時間外の連絡手段	UNIPAによる。
留意事項	1. 本科目の単位修得後に「心理学実験Ⅰ」を履修することができる。 2. 講義中の私語、電話や食事等、他の学生の履修や授業進行の妨げとなる行為を禁止する。途中退室を認めるので、それらを済ませてから再度入室すること。 3. 2. を繰り返す場合、妨害の意図の有無に関わらず以降の受講を断る場合がある。